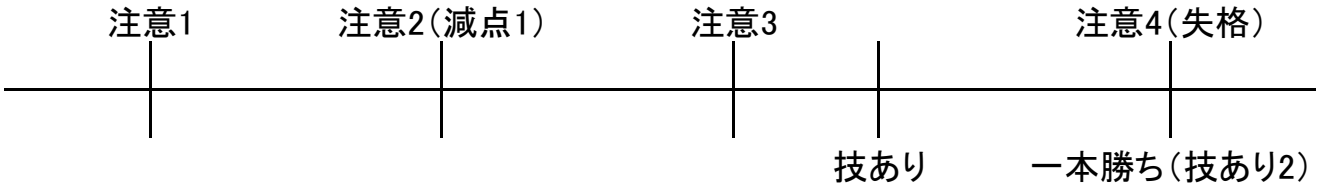
第15回勇心杯空手道選手権大会　判定について

1.判定基準（図解）



2.判定基準（解説）

①技ありと一本の関係

0　＜　技あり1　＜　一本（技あり2）

②注意1は本戦では勝敗への影響は少なく、試合内容で判断する
　但し、マスト判定の場合試合内容が全くの互角の場合は「注意1」を取られた方が不利となる。

③判定の際、一本勝ち（技あり2）・注意4（失格）・試合続行不可能な状況を除き、
　技ありが片側にある場合は技ありを持っている方の勝利とする。
片側が注意2（減点1）で片側が注意0若しくは注意1の場合は注意2（減点1）の負けとする。
注意2（減点1）と注意3（減点1+注意1）の場合は減点1が相殺される為、②と同様の内容とする。
両者とも技あり1、若しくは技あり1と技あり1+注意1の場合も②と同様の内容とする。
　※悪質な反則の場合は減点1あるいは失格もあり得ます
　※判定の勝ち名のりが終了する前に嘔吐した場合は続行不可とし、嘔吐した選手の失格とする。

各コートでのクレームは一切受け付けません。
質問、相談のある場合は各流派の先生を通じて
審判長へご相談してください。
クレームや暴言が出た場合試合結果に関わらず
失格もあり得ますのでご注意ください